

⚠ 注意事項

取り付け前にチェック

- この商品は屋内用です。他の用途には使用しないでください。
- 本製品は、ねじ、釘を使わずに支柱を天井と床に強力に圧着して取り付けますので、下地のしっかりしている場所に取り付けてください。やむをえず弱い所に取り付ける場合は、破損を防ぐため、市販の木板などで補強することをおすすめします。
- 和室の天井は破損したり、変形する恐れがあるので取り付けしないでください。
- 傾斜した天井、床面には取り付けしないでください。転倒の原因になります。
- 火気や熱源のそばには、取り付けしないでください。
- 高温となる所、屋外や直射日光の当たる所、浴室や湿度の高い所、水が掛かる所には使用しないでください。
- 組み立て、設置はお二人ですていただくより容易に行えます。
- 組み立ては、十分広い場所で行ってください。また、床などにキズがつかないようにあて布をして行ってください。
- パイプ端面には直接手を触れないでください。ケガの恐れがあります。(手袋を着用して作業を行ってください)
- 分解や改造は危険ですのでしないでください。
- 表示の取り付け範囲内で取り付けてください。
- 圧着固定式ですので、ねじ類はしっかり締め付けてください。弱いと本体の転倒の原因になります。
- 小さな部品等がございます。作業中は特にお子様にご配慮ください。

使用時にチェック

- 支柱を強く引っばったり、ゆすると転倒や破損の原因になり、危険です。また本品によじのぼったり、ぶらさがり行為は絶対にしないでください。お子様にはとくにご注意ください。
- 万一に備え、危険物、燃焼機器、貴重品、破損の恐れのあるものは載せたり、掛けたり、周囲に置いたりしないでください。
- 表示耐荷重の範囲内でご使用ください。耐荷重は実験値で保証値ではありません。
- 荷重は急激にはかけないでください。
- 取り付け2~3日後、圧着状態を確認し、弱いときは圧着力を増してください。また、使用しているうちにねじ等のゆるみが発生し、ぐらつきが大きくなることがありますので定期的に点検(1ヶ月に2回程度)、締め直しをしてください。
- 使用により表面塗装に傷つく場合があることをご了承ください。
- 樹脂部品は特性上、油の付着や紫外線により劣化が生じます。
- 使用中に変形や破損、ひび割れなどがないか、定期的に点検してください。もし、異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止してください。
- 汚れは、水で薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤分が残らないよう拭き取った後、乾いた布で拭きとってください。たわし、磨き粉で磨くと傷が付きやすくなります。
- 消臭剤、芳香剤、化粧品、整髪料、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、油脂、有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)の付着は変質劣化の原因になります。直ちに取除いてください。
- 天災などの不可抗力や改造、経年劣化、製品本来の用途から逸脱した使用による故障、破損、事故に対する補償は致しません。

お問い合わせ



HEIAN
SHINDO

平安伸銅工業株式会社

TEL 06-6228-8986

9:30-17:00(土・日・祝日除く)

www.heianshindo.co.jp

材質表示

- 支柱 : 鉄 / エポキシ樹脂粉末塗装
- 樹脂部品 : ABS樹脂 / EVA樹脂
- ねじ : 真鍮 / 鉄 / ABS樹脂

DESIGNED IN JAPAN
MADE IN CHINA

240117P



DRAW A LINE

003

Tension Rod C

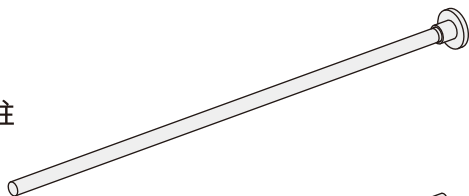
取扱説明書



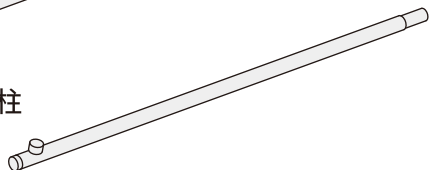
HEIAN
SHINDO

部品一覧

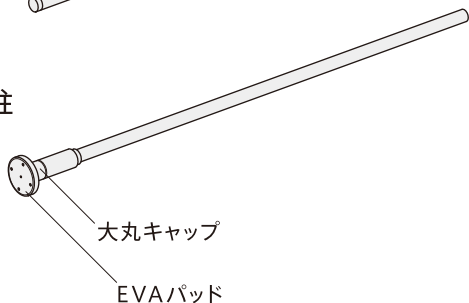
上支柱
(1本)



中間支柱
(1本)



下支柱
(1本)



組み立て前に部品が揃っているか確認し、セットにして並べて置くと組み立てやすくなります。

設置場所について

○ コンクリートや横桟のある下地のしっかりした所

✕ 傾斜した天井面や床面、畳やじゅうたんの上、和室天井

屋内専用

取り付け高さ **200~275cm**

最大耐荷重 **10kg**

- ◎ ランプを取り付ける場合は専用のランプ以外は取り付けないでください。
- ◎ 耐荷重は圧着力が不足する場合や、取り付け幅、取り付け面の材質、施工状態により減少します。
- ◎ 表示耐荷重は実験値であり、保証するものではありません。

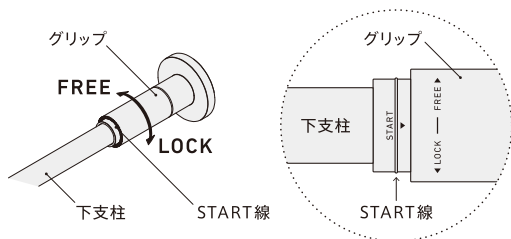
商品の外観について

- 真鍮部品は、メッキをしない地色そのままです。使いこむにつれ色が変わります。
- スチールの塗装は、独特な質感が出るようマット塗装をしております。硬いものの先端などに当たると傷がつきます。
- 固定時はパイプをネジで貫通させるため、パイプに穴が開きます。暮らしとともに素材の経年変化をお楽しみ下さい。

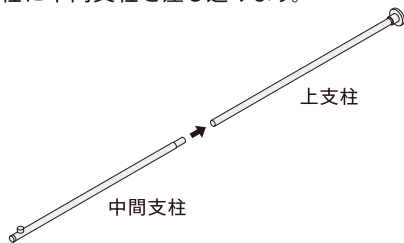
取り付け方法

- 1** グリップを「LOCK」の方向に回し、グリップが動くことを確認し、グリップの端を「START線」の位置に戻します。

※必要以上の戻しすぎは破損の原因になります。取り付け直す場合はグリップを必ずSTART線の位置までもどしてから行ってください。

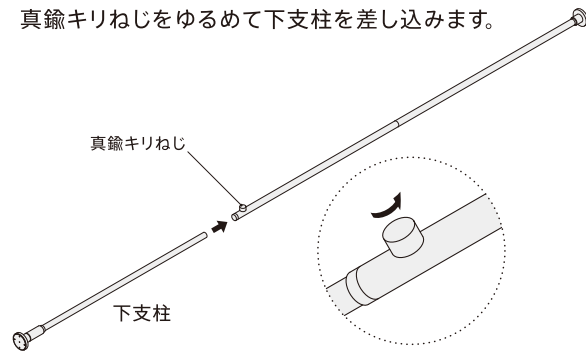


- 2** 上支柱に中間支柱を差し込みます。

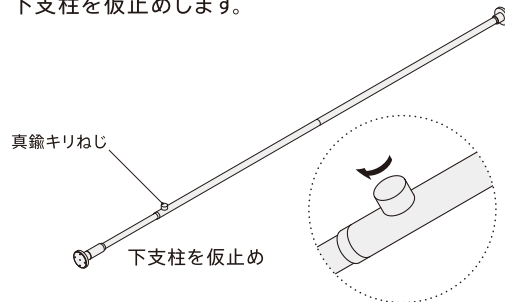


3

- 3** 真鍮キリねじをゆるめて下支柱を差し込みます。



- 4** 下支柱が滑り落下しない程度に真鍮キリねじをねじ込み、下支柱を仮止めします。



4

5 ① 設置場所の天井、床等の強度を再確認してください。

② 組み立てた製品を設置場所に立て、仮止めしてある真鍮キリねじを一旦ゆるめます。(下支柱の急激な落下に注意してください)
取り付ける天地間いっぱい(上・下キャップ両端が天井と床に付くまで押しつける感覚で)に下支柱を引出します。

③ 真鍮キリねじをしっかり締め付け、長さを固定します。
(締め付けが弱いと転倒等の原因になります)

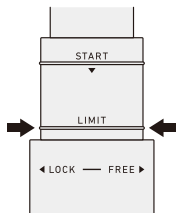
④ 支柱最下部のグリップを「LOCK」の方向に回転させ、支柱が倒れない程度に仮圧着固定をしてください。
※この段階で支柱が垂直になるように調整してください。

⑤ グリップを「LOCK」の方向にまわし、グリップの回転が固くなるまでしっかり圧着固定します。支柱を引っ張ってしっかり圧着固定されているか確認してください。

注意

取り付け面を破損しないように確認しながらグリップをまわしてください。

「LIMIT線」を越える場合は、取り付け方法に誤りがあるか、取り付け場所が適していない可能性があります。取り付け面の強度を再度確認の上、はじめからやり直してください。



上キャップ



真鍮キリねじ

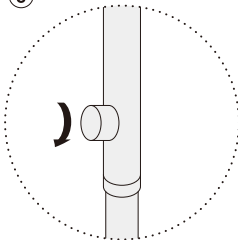


下キャップ

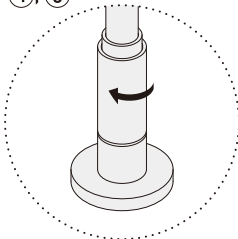
グリップ



③



④、⑤



▲ 注意事項

本製品の鏡はガラス製です。落下などの衝撃により割れる恐れがあるため、取り扱いには十分注意してください。

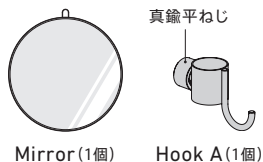
取り付け前にチェック

- この製品はDRAW A LINEのTension Rod（縦取付タイプ）専用です。横突っ張りやMove Rodには使用できません。
- この製品は屋内専用です。他の用途には使用しないでください。
- 小さい子供、及び監督を必要とする方の手の届かない場所に取り付けてください。
- 分解や改造は危険ですのでしないでください。
- 脱衣所などの湿度が高い場所でのご使用はお控えください。製品がさびる恐れがあります。
- 転倒防止の為、Tension Rodの天井側のEVAパッドをホッチキス又はねじで固定することを推奨しています。固定方法については、本取扱説明書のP.3～P.4をご確認ください。

使用時の注意事項

- 本製品を引っ張ったり、服が引っ掛かったりすると、Tension Rodが外れて床を傷つけたり、転倒してけがをする恐れがあります。
- 真鍮平ねじは確実に締め込み、本製品を使用する前にズリ落ちたりしないか必ず確認してください。
- Mirrorを吊るしているHook Aには、Mirror以外のものは吊るさないでください。Mirrorが落下する原因になります。
- 万が一Mirrorが割れてしまった場合は、直接破片を手で触ったりせず、ほうき等を使用し安全に片付けを行ってください。
- 日本国外に持ち出された製品は補償の対象外になります。

製品一覧



Tension Rodの耐荷重は、本製品を1kgとして計算してください。

お手入れの方法

- Mirrorをお手入れする際は、必ずHook Aから外しテーブルの上などの安定した場所で行ってください。吊り下げたままの作業はMirrorが落下する恐れがあるためおやめください。●Mirrorを掃除する際は、柔らかい布で軽く拭いてください。汚れが落ちにくい場合は、市販のガラスクリーナーをご使用ください。
- スチール部分についた汚れは、柔らかい布を固く絞って水拭きをし、その後から拭きをしてください。
- 水や油が付着した場合は直ちにふき取ってください。

商品の外観について

- 真鍮部分は、メッキをしない地色そのままです。使いこむにつれ変色します。●スチールの塗装は、独特な質感が出るようマット塗装をしております。硬いものの先端などに当たると傷がつきます。●固定時はパイプにねじを押し付けますので、パイプに傷がつきます。暮らしとともに素材の経年変化をお楽しみください。

お問い合わせ

HEIAN SHINDO 平安伸銅工業株式会社
TEL 06-6228-8986
9:30-17:00(土・日・祝日除く)
www.heianshindo.co.jp

材質表示	
●本体	鉄/エポキシ樹脂粉末塗装
●鏡	ガラス
●ねじ	真鍮/鉄/ABS樹脂

DESIGNED IN JAPAN 160922V
MADE IN CHINA



DRAW A LINE

D-MIR-BK / D-MIR-WH

Mirror

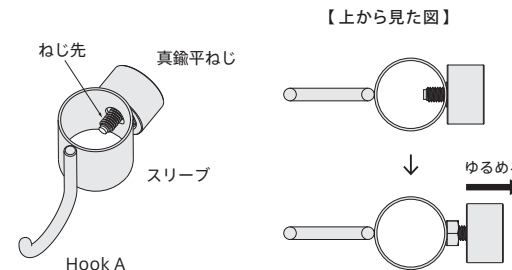
取扱説明書

HEIAN SHINDO

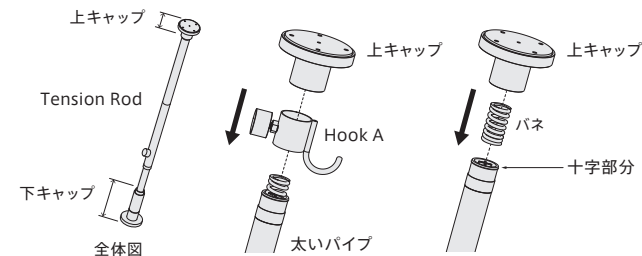
取り付け方法

● Hook AをTension Rodに取り付ける方法

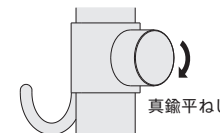
- 1 差し込む際にパイプに傷が付かないよう、スリーブの内側をのぞき、ねじ先が見えなくなるまで真鍮平ねじをゆるめます。



- 2 取り付け前に太い方のパイプ側についている上キャップを一旦はずし、Hook Aを通して上キャップをはめてください。
※バネがはずれた場合は、パイプ内側の十字部分にバネを取り付け、上キャップをはめてください。



- 3 Tension RodにHook Aを取り付けた後、Mirrorを使用する位置・向きで真鍮平ねじを締め込み固定します。

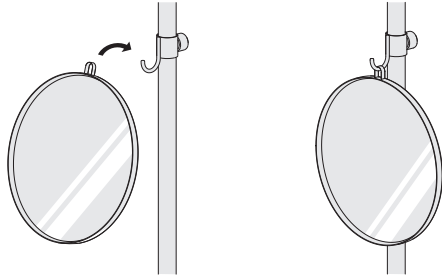


取り付け方法

● Mirrorを取り付ける方法

Hook AにMirrorを取り付けます。

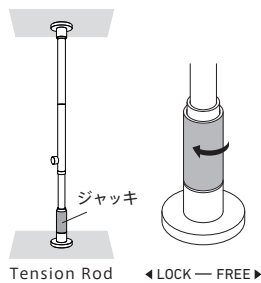
- Mirrorを取り付ける際は、両手で行ってください。
- 落下する恐れがあるため、Mirrorを取り付けている高さを変更する際は、必ずHook AからMirrorを外してください。



！ 設置後の定期点検について

必須

Tension Rodを取り付けて2～3日後に圧着状態を確認してください。圧着力が弱い場合は、ジャッキを矢印方向の回して圧着力を増してください。また、使用しているうちにジャッキ等のゆるみが発生し、ぐらつきが大きくなる場合がありますので、必ず定期的に点検(1ヶ月に2回程度)、締め直しを行ってください。

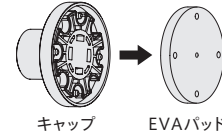


⚠ 注意事項

本製品を使用する場合は、転倒防止のため天井側のEVAパッドをホッチキス又はねじで固定することを推奨しています。ただし、取り付け跡が残りますので支障のない場所で使用してください。

● Tension Rodのパッドを天井に固定する方法

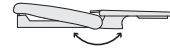
- 1 天井側のキャップからEVAパッドを外し、キャップをもとに戻します。
※Tension Rodは大丸キャップを使用してください。



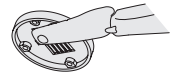
- 2 Tension Rodを設置する位置を決め、取り外したEVAパッドを天井にホッチキス又はねじで固定します。
※テーブルや椅子の上に乗って作業すると転倒しけがをする恐れがあります。必ず十分な強度、高さのある脚立などを使用してください。

<石膏ボードに取り付ける場合>

本体が180°以上開くタイプのホッチキスをご用意ください。(180°開放しないタイプやコンパクトタイプのホッチキスは使用不可) ※付属の針が不足した場合は市販の10号サイズの針が使用できます。(ステンレス製推奨)



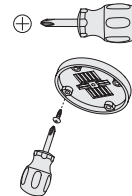
ホッチキス本体を180°開き、EVAパッドをしっかりと天井に押しえながら上下の全ての凹部分に1本ずつホッチキスの針を打ち込みます。垂直に刺さるようにホッチキスを寝かせて、根元までしっかりと打ち込んでください。



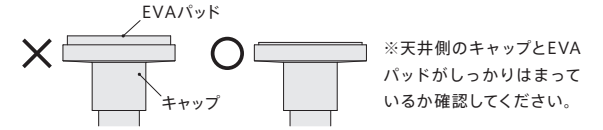
<ベニヤ板に固定する場合>

プラスドライバー(2番サイズ)をご用意ください。

EVAパッドを天井に押しえつながら、付属のねじを使って固定します。※強く締めすぎると天井の穴が大きくなり空回りします。ねじの頭部分が浮かない程度まで締めてください。



- 3 Tension Rodの取扱説明書に従って取り付けます。天井に固定したEVAパッドに天井側のキャップを回転させながらしっかりとめ込んで取り付けてください。
二人で作業すると取り付け易くなります。



⚠ 注意事項

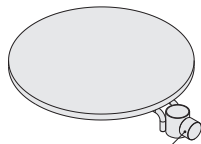
取り付け前にチェック

- この商品は屋内専用です。他の用途には使用しないでください。
- 小児、及び監督を必要とする方の手の届かない場所に取り付けて下さい。
- 分解や改造は危険ですのでしないでください。

使用時にチェック

- 耐荷重を超える物を載せたり、強い衝撃を加えると、テーブルが破損したり落下する恐れがあります。
- テーブルを引っ張ったり、服が引っ掛かったりすると、Tension Rodが外れて床を傷つけたり、転倒して怪我をする恐れがあります。
- 真鍮平ねじは確実に締め込み、テーブルを使用する前にズリ落ちたりしないか必ず確認して下さい。
- 汚れは柔らかい布を固く絞って水拭きをし、その後から拭きして下さい。
- 水や油が付着した場合は、直ちに取除いてください。

テーブル本体 (1個)



真鍮平ねじ

屋内専用

最大
耐荷重 **1 kg**

Tension Rodの耐荷重は本製品を1kgとして計算してください。

商品の外観について

●天然木を使用しているため、木目・節・色・艶などに個体差があります。●真鍮部品は、メッキをしない地色そのままです。使いこむにつれ色が変化します。●スチールの塗装は、独特な質感が出るようマット塗装をしております。硬いものの先端などに当たると傷が付きまます。●固定時はパイプにネジを押し付けますので、パイプに傷が付きまます。暮らしとともに素材の経年変化をお楽しみ下さい。

お問い合わせ



平安伸銅工業株式会社
TEL 06-6228-8986
9:30-17:00 (土・日・祝日除く)
www.heianshindo.co.jp

材質表示

- 本体 : 鉄/エポキシ樹脂粉末塗装
- テーブル板 : 合板/ラッカー塗装
- ねじ : 真鍮/鉄/ABS樹脂

DESIGNED IN JAPAN
MADE IN CHINA

080719P



DRAW A LINE

006

Table A

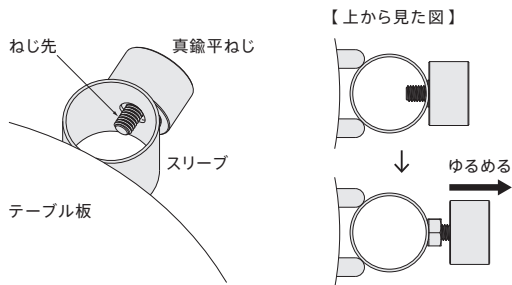
取扱説明書



取り付け方法

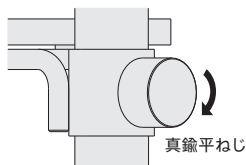
最初に必ず行ってください

差し込む際にパイプに傷が付かないよう、スリーブの内側をのぞき、ねじ先が見えなくなるまで真鍮平ねじをゆるめます。



最後に必ず行ってください

Tension Rod を取り付けした後、テーブル本体を使用する位置・向きで真鍮平ねじを締め込み固定します。



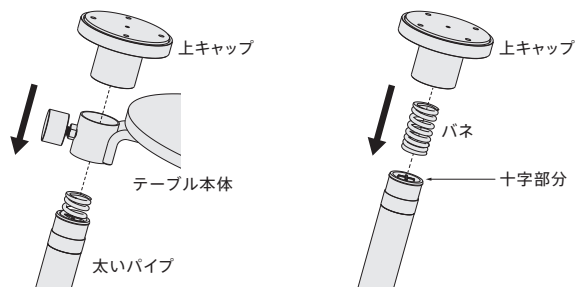
● 細いパイプの場合

Tension Rod を取り付ける前に細いパイプを抜いて、上下の向きに注意して、テーブル本体を通し差し込みます。



● 太いパイプの場合

取り付ける前に太い方のパイプ側についている上キャップを一旦はずし、テーブル本体を通して上キャップをはめてください。
※バネがはずれた場合は、パイプ内部の十字部分にバネを取り付け、上キャップをはめてください。



⚠ 注意事項

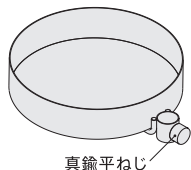
取り付け前にチェック

- この商品は屋内専用です。他の用途には使用しないでください。
- 小児、及び監督を必要とする方の手の届かない場所に取り付けて下さい。
- 分解や改造は危険ですのでしないでください。

使用時にチェック

- 耐荷重を超える物を載せたり、強い衝撃を加えると、トレイが破損したり落下する恐れがあります。
- トレイを引っ張ったり、服が引っ掛かったりすると、Tension Rodが外れて床を傷つたり、転倒して怪我をする恐れがあります。
- 真鍮平ねじは確実に締め込み、トレイを使用する前にズリ落ちたりしないか必ず確認して下さい。
- 汚れは柔らかい布を固く絞って水拭きをし、その後から拭きして下さい。
- 水や油が付着した場合は、直ちに拭き取ってください。

トレイ本体(1個)



真鍮平ねじ

屋内専用

最大
耐荷重 **2kg**

Tension Rodの耐荷重は本製品を1kgとして計算してください。

商品の外観について

- 真鍮部分は、メッキをしない地色そのままです。使いこむにつれ変色します。
- スチールの塗装は、独特な質感が出るようマット塗装をしております。硬いものの先端などに当たると傷がつきます。
- 固定時はパイプにネジを押し付けますので、パイプに傷がつきます。暮らしとともに素材の経年変化をお楽しみ下さい。

お問い合わせ



平安伸銅工業株式会社
TEL 06-6228-8986
9:30-17:00(土・日・祝日除く)
www.heianshindo.co.jp

材質表示

- 本体：鉄／エポキシ樹脂粉体塗装
- ねじ：真鍮／鉄／ABS樹脂

DESIGNED IN JAPAN
MADE IN CHINA

111217P



DRAW A LINE

019

Tray

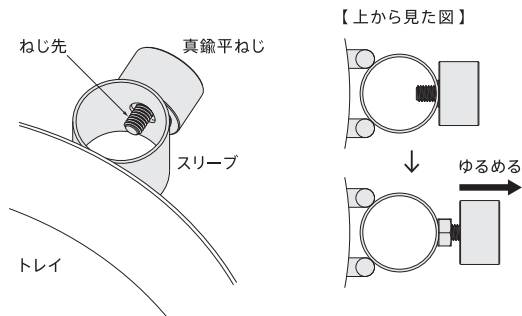
取扱説明書



取り付け方法

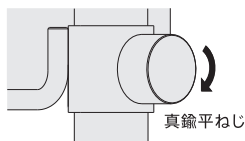
最初に必ず行ってください

差し込む際にパイプに傷が付かないよう、スリーブの内側をのぞき、ねじ先が見えなくなるまで真鍮平ねじをゆるめます。



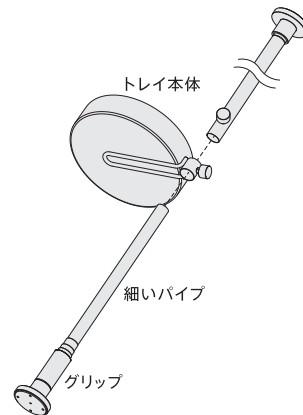
最後に必ず行ってください

Tension Rod を取り付けした後、トレイ本体を使用する位置・向きで真鍮平ねじを締め込み固定します。



● 細いパイプの場合

Tension Rod を取り付けの前に細いパイプを抜いて、上下の向きに注意して、トレイ本体を通し差し込みます。



● 太いパイプの場合

取り付ける前に太い方のパイプ側についている上キャップを一旦はずし、トレイ本体を通して上キャップをはめてください。

※バネがはずれた場合は、パイプ内部の十字部分にバネを取り付け、上キャップをはめてください。

